

教科名	公民	科目	倫理選択	単位	2単位
-----	----	----	------	----	-----

1. 教科書および副教材・参考書

『高等学校 倫理』（第一学習社）

『テオリア 最新 倫理資料集』（第一学習社）

2. 授業の目標および内容

先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深め、生徒が自らの人格の形成に努める実践的な態度を育てることを目標とします。ギリシア思想、三大宗教、東洋思想、日本思想、西洋近代思想を中心に学習します。

倫理の授業で大切なのは、知識を暗記することではなく、古代から現代までの思想家たちが「どのようなことを考えて、どのような思想を確立したか」を理解することです。そして「人間とは何か」ということを「どのように理解し、考えていたか」ということを、その思想家の言葉で考えてみることです。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月		第2回 2月

内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題

範囲を定め、教科書の内容を中心に出题します。

② 学力試験：50点満点(地歴科目と合わせて100点)

試験までに学習した内容を出題します。

4. 課題・補習について

適宜、小テストなどを行います。

5. 評価の視点

定期試験の得点に、授業態度や提出物の平常点を加味して評価します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	古代ギリシアの思想 キリスト教 イスラーム 古代インドの思想と仏教	哲学の誕生 ソクラテス、プラトン、アリストテレス ヘレニズム時代の思想 古代ユダヤ教、イエスの教え キリスト教の成立と発展 「クルアーン」の教え 古代インドの社会と思想 ブツダの思想、仏教の展開	
2	中国の思想 西洋近代の思想	孔子と儒家の思想、儒教の展開 老荘思想 ルネサンス、宗教改革、モラリスト 近代科学の誕生、ベーコンとデカルト 自然権と社会契約、カント、ヘーゲル、イギリス功利主義、実証主義、社会主義	
3	西洋近代の思想	実存主義、プラグマティズム、現代の新しい思想、構造主義、その他	